



さつきが丘小だより

学校教育目標 賢く 直く 逞しく

学校ホームページURL <https://kanuma-school.ed.jp/e-satuki>

鹿沼市立さつきが丘小学校

〒322-0026

鹿沼茂呂1086-5

電話 65-0919

発行者 学校長

『“伝える”を考える』 宮田修氏の講演より



先日、元NHKエグゼティブアナウンサーで、定年退職後、現在は千葉県長南町や白子町の63社で宮司をお務めになっている宮田修さんの講演をお聞きする機会がありました。宮田さんは、NHK時代に起きた阪神淡路大震災で、第一報を伝えたことで知られている方です。お茶だけで13時間にもおよぶ現地での放送を行った苦勞を話されていました。先生は、大学では教師を目指し、教育実習にも行かれたそうです。その実習で、子どもたちと接する中で自分は教師に向いていないと思い、教師を諦め、大学に来ていた求人案内でNHKアナウンサーには大学の推薦が不要であることを見つけたそうです。NHKに入社後は、朝・夕方・夜のニュース担当は各々1名の3名、それを目指し努力されたそうです。1995年から1999年まで、「NHKニュース7」（土日祝日）のキャスターとご活躍されました。

日本の伝統的な稲作文化では、共同作業のため、全体の中で自分の役割があり、任された役割で責任をもって作業することが必要でした。自然と、全体の中で自分の役割を果たすことができるようになってきたのが日本の伝統である。このような伝統から、日本は、相手を理解していれば伝えたいことが伝わる文化のため、「もともと日本人は話して伝えることを苦手としている」と話されていました。

講話の終盤で、宮田さんは、今の日本は、『伝えたいことを上手に伝える』ことが必要になってきている。と話されました。ある小学校で使われていたコミュニケーションの力を育成するための資料の一部を紹介されました。

この例以外にもご自分の体験を話され、今の日本に必要なことは、『自分の考えや思いを上手に伝えるトレーニング』である。日々の積み重ねのトレーニングで、上手な伝え方が身に付くようになる。とまとめられました。

ついつい、子どもが伝えたいことをこちらから先に代弁してしてしまったり、子どもに言い直しをさせたり、ということがないように思います。

子どもに伝える力をつけるためにも、どうしたら伝わるのか、何を伝えたかったのか、うまく伝えるためにはどうしたらよかったのか等、大人が答えを伝える前に、子どもの考える時間をつくるのが、トレーニングの始まりであるように思いました。必要な情報が手軽にたくさん入手できる社会になってきているからこそ、『自分の伝えたいことを上手に伝えること』が求められるようになってきているのかもしれませんが。本校の授業での活動においても、自分の考えたことや思ったことを相手に上手に表現することに力を入れています。今後も、『上手に伝える』ことをねらいに取り組んでいきたいと思ひます。

ある雨の日、下校の時の児童と先生の会話

(児童) 先生、「かさ」。

(先生) 「かさ」がどうしたの。

(児童) ないんです。

(先生) どうしてないの。

(児童) “もじもじしてしまい、どう伝えてよいかかわからない状態になっている”

「自分が伝えたいことをわかってもらえない」という気持ちが伝わらないから困ってしまった。

10月22日 3年生遠足 (益子町)

3年生は、益子町での、絵付け体験 (制作活動) ・益子焼の工房見学、浜田庄司記念館見学の活動を行いました。この日もあいにくの雨模様でしたが、各々が考えた下絵をもとにした益子焼の制作活動では、熱心に集中して活動したり、工房や記念館の見学では、興味をもって意欲的に活動したりしました。制作した「絵皿」は工房で焼き上がった後、学校に届けられる予定です。



10月21日 5年生体力向上エキスパートティーチャー訪問授業

6月の訪問授業に続き、2回目の授業を行いました。午前中の2校時から4校時まで、学級での体育の授業となりました。授業では、主に投げる運動として、紅白に分かれ、10m投げられたら1点、15mで2点、20m以上は3点のルールでゲームを行いました。ボールは、Tゲーム用のボールを使い、全員が15m以上投げられるようにという「めあて」で指導をしていただきました。

ウォーミングアップでも、折り返しリレーやスキップ運動を取り入れ、楽しく運動する活動を取り入れていただきました。

5年生全員が楽しそうに活動していました。中には、「もう1回！」などと声を出して熱心に投げる様子も見られ、指導者の先生からも活発で活動できることがとても素晴らしいという評価をいただきました。2回の授業から、投げる運動を楽しく行う指導の工夫を学ばせていただきました。



10月26日・27日・28日 4年生 自然生活体験学習



コロナ対策のため、学級ごとに日帰りの活動を行いました。自然体験交流センターでの入所式に始まり、午前は、グループに分かれてのウォークラリー。地図を頼りにコースを間違えないように周り、チェックポイントでは、クイズに答えていました。制限時間を基準にした所要時間のポイントにクイズの正解のポイントを合計して順位を競いました。

10分おきにセンターを出発し、板荷地区内を約2時間で一周しました。

午後は、火を起こし、のこぎりで板を切り、『杉板焼クラフト』の制作活動を行いました。

3日間とも晴天となり、秋の自然を身近に感じながら、充実した活動となりました。

11月12日 かぬま教育研究の日 公開授業・研究会



この日、本校（算数）と中央小学校（道徳）、東小学校（外国語活動）、みどりが丘小学校（国語）、北押原小学校（学級活動）を会場に、市教育委員会主催の「かぬま教育研究の日」として、各校の授業力向上の取り組みの発表を行いました。

コロナ対策のため、本校職員を含む約100名の参加者には、事前録画した研究授業をリモートで視聴していただきました。授業参観後の研究協議と指導者による指導、講師の講話も、リモートと対面のハイブリットで行いました。

2週間前には各端末の接続確認、前日には機材の動作チェックと端末のWiFi接続確認作業、進行手順の確認を行い、当日の発表を迎えました。

本校の授業力向上の取り組みを他校のたくさんの方々に理解していただくことで、算数の授業の改善に役立てていただく良い機会となりました。

リモートでの実施にはまだまだ課題がありますが、本校職員のICTスキル向上を図ることで、授業でのタブレット活用にもつながる良い経験となりました。

2年生・3年生・6年生の授業を見ていただきましたが、どの学年も「めあて」に沿って、算数の問題に対して自分の考えや友だちの考えを生かしながら、さまざまな方法で真剣に問題解決に取り組む素晴らしい姿が見られました。

11月16日 租税教育推進への感謝状

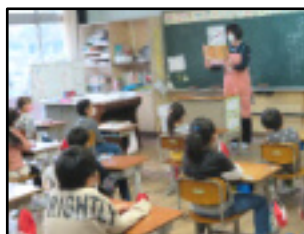
本校は過去19年間にわたり、租税教室を実施してきました。長年の租税教育の推進への尽力に対して、鹿沼税務署長様より感謝状と記念品をいただきました。ありがとうございました。

今年度も、11月18日に税務署の方を講師に、6年生で租税教室を行いました。



10月～KLVさんによるお話し会

コロナ対策のため、実施を見合わせていたお話し会を、10月から再開しました。KLVさんには、感染予防にも御理解をいただき実施することができました。毎月一学年ずつ、6年生まで行う予定です。KLVの皆様には、早朝よりお世話になり、大変感謝申し上げます。



- 3日(金)まで 校内人権週間 保護者懇談
- 7日(火) 6年生修学旅行(福島県) ~8日(水) 1泊2日
- 8日(水) 北犬飼中学校説明会
- 冬休み 12月25日(土)~1月10日(月)

- 14日(火) KLVお話し会
- 19日(日) ノーメディアデー
- 24日(金) 特別日課 2学期終業式
- 28日(火) 学校閉庁日



3学期始業式は 1月11日(火)です。

□おもな予定になります。変更になることもあります。